東浦町橋梁長寿命化修繕計画

坊主橋

令和５年１月

東浦町　建設部　土木維持管理課

目　次

１　長寿命化修繕計画の背景と目的 1
(1)　背景..... 1
(2)　目的..... 1
(3)　方針..... 1
２　長寿命化修繕計画の対象橋梁（対象橋梁の概況） 2
(1)　計画対象の橋梁数..... 2
(2)　橋梁の構成..... 2
３　健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針 5
(1)　健全度の把握に関する基本的方針..... 5
(2)　点検及び修繕の状況..... 6
(3)　日常的な維持管理に関する基本的方針..... 7
４　対象橋梁の長寿命化及び修繕及び集約化・撤去に係る費用の縮減に関する具体的な方針 9
５　対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期 10
６　長寿命化修繕計画による効果 14
７　計画策定担当部署 15
(1)　計画策定担当部署..... 15

１　長寿命化修繕計画の背景と目的

(1)　背景

国土交通省では、地方自治体が管理している 13 万箇所を超える道路橋の老朽化等に伴う損傷の早期発見とその補修を行うため、平成 19 年度に「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度」を創設した。この制度は「長寿命化修繕計画」の策定に要する費用の一部を国が補助するもので、これまでの事後的な修繕・架替えから、今後は予防的修繕および計画的架替えへと政策転換を促すことを目的としている。

全国的に見て、建設後相当の期間を経過した橋梁を含む社会資本は増大する傾向にあり、老朽化に伴う障害事例が見られる。

愛知県においても、平成 17 年度に「社会資本長寿命化基本計画」を策定し、予防的修繕に取り組むため、平成 19 年度から全橋梁の点検を実施し、平成 24 年度に計画を策定している。

東浦町の橋梁は、高度成長期以降に整備されたものが多く、今後、高齢化の進行が予想される。こうした状況の下、今までのような事後的な修繕および架替えでは更新コストが増大し、町の財政状況が厳しくなり社会資本関連の予算が削減されつつある昨今の状況では、適切な維持管理の継続に振り分ける予算の確保が困難となる可能性がある。

(2)　目的

上記の背景のもと、今後急速に増大する高齢化した橋梁の維持管理に対応するため、従来型の事後的な修繕・架替えから予防的な修繕・計画的な架替えへと円滑な政策転換を図る必要がある。

このため、橋梁の長寿命化及び橋梁の修繕・架替えにかかるコストの縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とした。

(3)　方針

計画期間は、令和４年度から令和８年度とする。また、本計画が適切で有効性の高いものとするために最新の点検結果を反映させ、適宜更新・改訂を行うものとする。

２　長寿命化修繕計画の対象橋梁（対象橋梁の概況）

(1)　計画対象の橋梁数

東浦町が管理する道路法上の道路に架かる橋長２ｍ以上の道路橋 73 橋(ボックスカルバート等含む)、を対象とする。(ボックスカルバートも道路を構成する一部であり、常に健全性を把握する必要性があるため、長寿命化修繕計画の対象とした。)

表-2.1　計画対象橋梁数

対象橋梁数	73 橋
うち平成 29 年度点検橋梁	31 橋
うち平成 30 年度点検橋梁	33 橋
うち令和２年度点検橋梁	6 橋
未点検橋梁(新設)	3 橋

(2)　橋梁の構成

計画策定橋梁 73 橋の橋種別橋梁割合は以下のとおりであり、鋼橋※が４%、RC 橋※が 54%、PC 橋※が 42%となっている。

表-2.2　橋種別の橋梁数・総橋長

橋種	橋梁数	総橋長
鋼橋	3 橋	64.55m
RC 橋	39 橋	160.14m
PC 橋	31 橋	381.05m
計	73 橋	589.49m

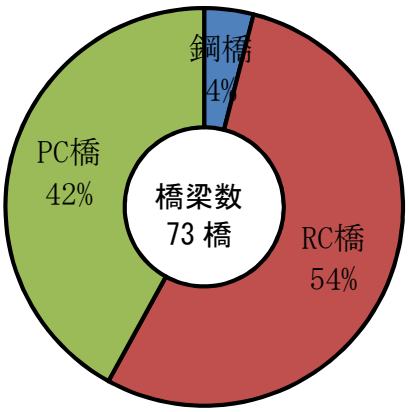

図-2.1　橋種別の橋梁割合

(3)　橋梁の年齢

長寿命化修繕計画対象橋梁の供用開始年度別橋梁数は下図のとおりである。現時点(令和４年３月 31 日末時点)では、架設年度が判明している橋梁で架設後 50 年以上経過した橋梁は 7 橋（11.9%）であるが、10 年後には 35 橋（61.0%）、20 年後には 43 橋（72.9%）と増加する。

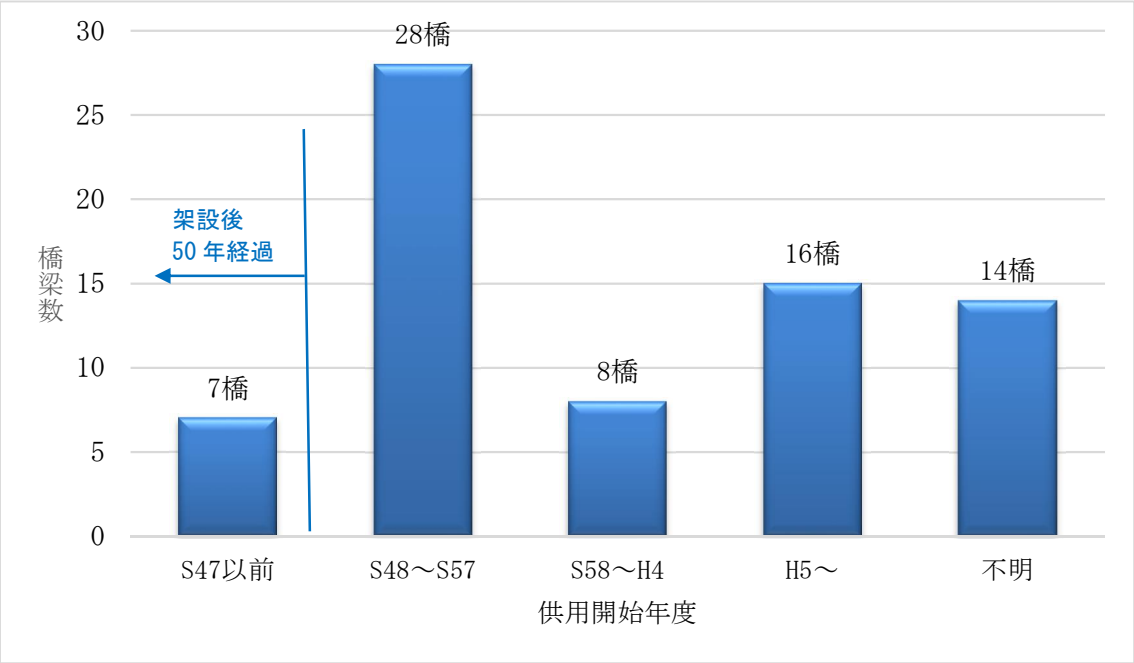

図-2.2　供用開始年度別の橋梁数

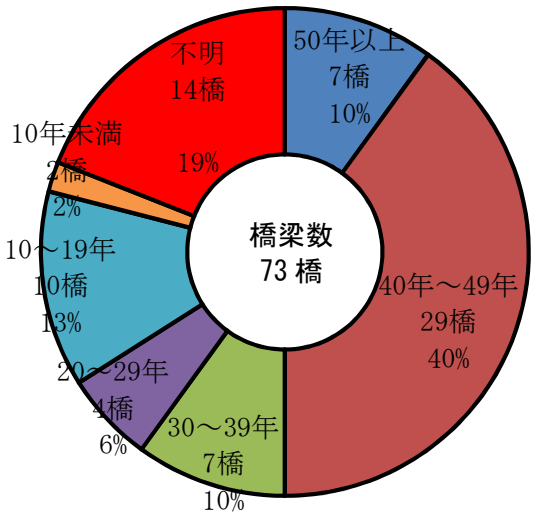

図-2.3　現在の年齢別橋梁割合
（架設年度　不明を含む）

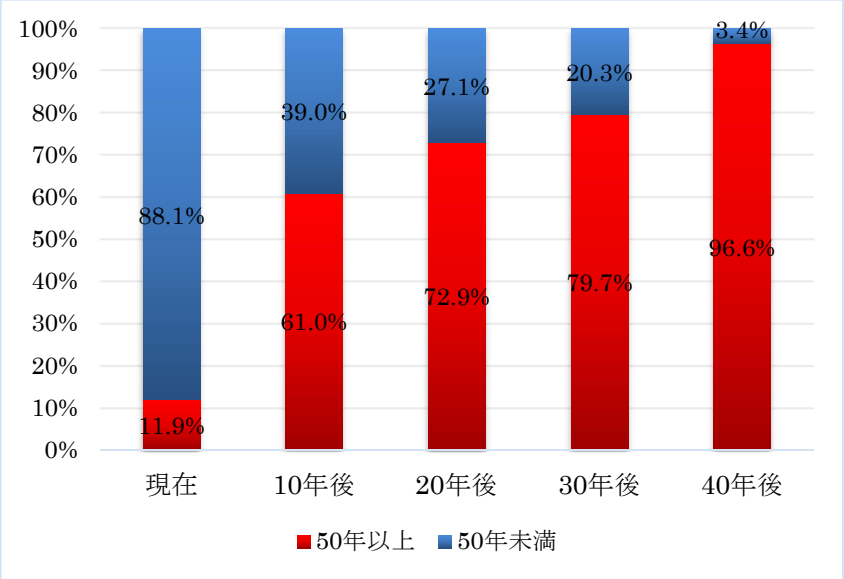

図-2.4　供用開始後 50 年以上の橋梁割合
（架設年度　不明を除く）

用語説明

※ 鋼橋

主要部材に鋼を用いた橋。

※ RC 橋・PC 橋

コンクリートを主材料として用いた橋。コンクリートは圧縮には強いが引っ張りには弱いため、鉄筋で補強した橋を RC 橋、高張力鋼棒によりプレストレスを導入した橋を PC 橋と呼ぶ。

３　健全度の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

(1)　健全度の把握に関する基本的方針

健全度の把握については、橋梁の架設年度・構造や立地条件等を十分に考慮して点検計画を立て、５年に１回の定期点検を実施する。定期点検においては、愛知県の「橋梁定期点検要領（案)」に基づいて実施し、橋梁の損傷を早期に把握するよう心掛ける。

橋梁定期点検要領（案）では、部材単位で細かく点検し、損傷の程度等に基づき対策の必要性を表-3.1 に示すように判定を行い、損傷度のデータを基に部材単位での健全性を表-3.2 に示すように判定する。最終的に、部材単位の健全性を基に道路橋毎の健全性の診断を行い、表-3.2 に示すように判定をする。

なお、点検状況については、写真-3.1、3.2 のとおり示す。

表-3.1　定期点検における橋梁の対策の必要性

区分	内　容
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
B	状況に応じて補修を行う必要がある。
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
E2	その他、緊急対応の必要がある。
S1	詳細調査の必要がある。
S2	追跡調査の必要がある。

表-3.2　健全性の診断

区　分		内　容
Ⅰ	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
Ⅱ	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
Ⅲ	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
Ⅳ	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

写真-3.1 専門業者による点検状況①

写真-3.2 専門業者による点検状況②

(2) 点検及び修繕の状況

点検については一巡目の点検を平成 27 年度から平成 30 年度にかけて近接目視で点検を行っている。なお、わらび橋・願並橋については供用開始年度が令和３年度のため、令和４年度に実施する二巡目点検に併せて一巡目点検を行う。

修繕については、判定区分Ⅳ(緊急措置段階)に該当する橋梁はなかった。判定区分Ⅲ(早期措置段階)の橋梁については３橋(全体の 1%)あり、平成 29 年度に対象橋梁全ての修繕が完了している。また、判定区分Ⅱ(予防保全段階)に該当する橋梁は 37 橋(全体の 54%)あり、損傷具合及び対象橋梁の周辺環境や利用状況を鑑みて計画的に修繕を行っていく。健全性の割合については図-3.1 のとおり示す。

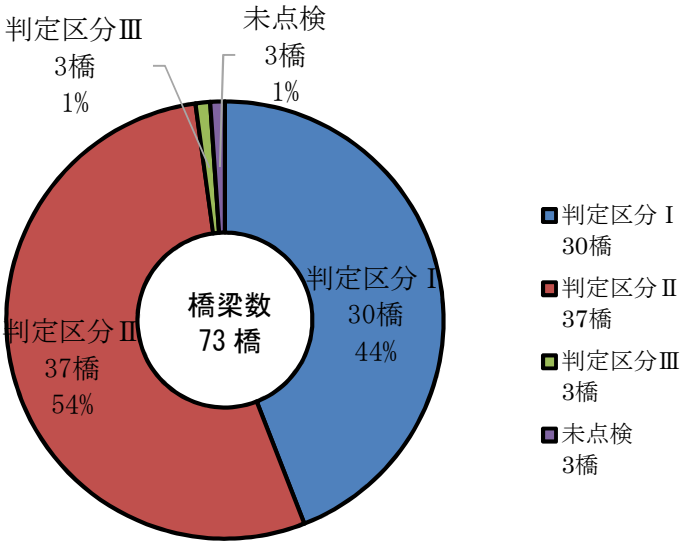

図-3.1 橋梁の健全性
(一巡目点検)

(3)　日常的な維持管理に関する基本的方針

橋梁の保全を図るため、日常的な点検として道路パトロールを実施する。

道路パトロールでは、パトロール車で走行しながら目視点検を行い、異常が疑われる箇所については徒歩による目視点検を行う。

道路パトロールの実施フローを以下に示す。

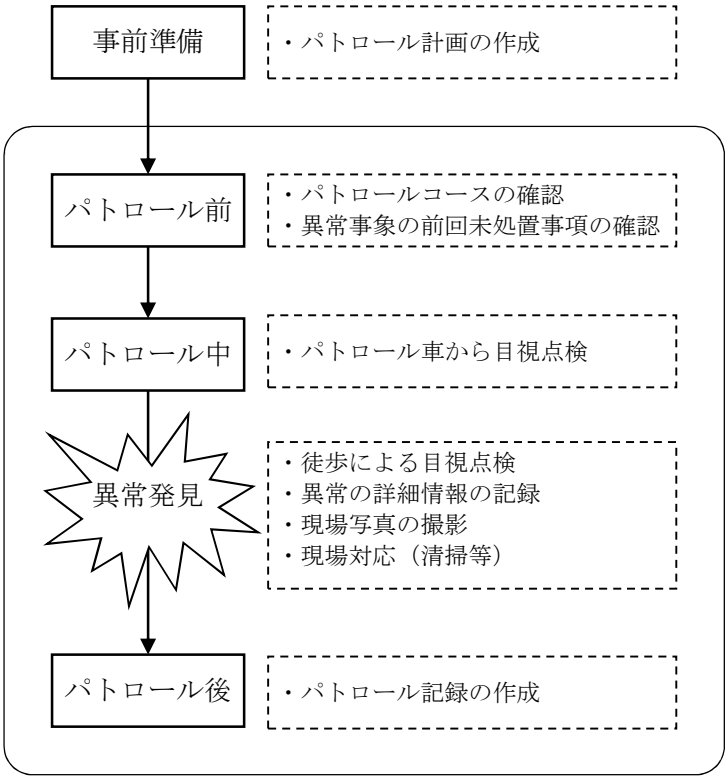

図-3.2　道路パトロール実施フロー

異常を発見した際、道路上の落下物等、現場において対応が可能であるものについてはその場で対応する。具体例として、排水の目詰まりや土砂堆積等を発見した際には必要に応じて堆積土砂の除去等を実施する。

道路パトロールにおける橋梁に関する目視点検項目を表-3.3 に示す。また、道路パトロール状況を写真-3.3・3.4 に示す。

表-3.3　橋梁に関する点検項目

点検項目	確認内容
破損	対象のサイズ（縦(m)×横(m)）、個数
腐食	
剥離	
鉄筋露出	
ボルト外れ・ゆるみ	個数
落書き	対象のサイズ（縦(m)×横(m)）、個数
接合部の段差	
土砂堆積	
排水不良	個数
その他	

写真-3.3 道路パトロール状況①

写真-3.4 道路パトロール状況②

４　対象橋梁の長寿命化及び修繕及び集約化・撤去に係る費用の縮減に関する具体的な方針

日常の道路パトロールの中で清掃等を実施し、橋梁定期点検の中で損傷の度合いおよび対策の必要性を定めるとともに、従来の事後的な修繕から予防的な修繕等の実施へ移行し、コストが掛かる架替えを極力なくすことにより、橋梁の長寿命化を目指す。また、長寿命化を適切に計画することにより、修繕・架替えに係る事業費の大規模化および高コスト化を回避し、ライフサイクルコスト（ＬＣＣ）※の縮減を図る。

以下の取り組みを実施することで約 85 万円のコスト縮減を目指す。

・令和８年度までに、対象橋梁のうち３橋で新技術の活用を行い、約 43 万円のコスト縮減を図る。

・令和８年度までに、迂回路が存在し交通量の少ない１橋の集約化・撤去を行い、約 42 万円のコスト縮減を図る。

用語説明

※　ライフサイクルコスト

製品や構造物などの企画、設計に始まり、竣工、運用を経て、修繕、耐用年数の経過により解体処分するまでを構造物の生涯と定義して、その全期間に要する費用を意味する。

５　対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替え時期

計画策定橋梁 73 橋に対する今後５年間の長寿命化修繕計画を表-5.1 に示す。

長寿命化修繕計画の基本的な考え方は、愛知県の「公共施設等総合管理計画」を参考に以下のように設定した。

①　劣化予測

劣化予測は、「社会資本長寿命化基本計画」において諸元情報及び点検結果を基に類型化したグループ単位で統計的に分析された結果を用いた。

②　ＬＣＣ分析

将来的に発生する維持管理コスト、運営コスト、廃棄コスト、更新コスト等を踏まえた経済性の評価を行うことで、中長期的な視点からの戦略的管理計画を立案することを目的にＬＣＣ分析を行った。

ＬＣＣ分析は、

a)橋梁に著しい損傷が発生してから補修する場合（事後保全タイプ）

b)定期的に点検を実施し損傷が軽微なうちに補修する場合（予防保全タイプ）の２タイプによりコスト比較を行った。

③　優先度判定

点検の結果、対策が必要と判断された損傷に対して、限られた予算で維持補修を行うには、優先度を付け工事計画を立案する必要がある。優先度の考え方を以下に示す。

- 主部材の損傷状況　　主桁、床版等の主部材の損傷が著しい橋梁修繕を優先
- 塗装系　　劣化が早い塗装系の橋梁を優先
- 適用示方書　　旧い基準が適用されている橋梁の修繕を優先
- 主桁の端部　　劣化が早い主桁の端部の修繕を優先
- 交通量　　利用度の高い橋梁の修繕を優先
- 大型車交通量　　大型車交通量が多く、床版の疲労劣化の著しい橋梁の修繕を優先
- 路線の重要度　　重要路線に位置する橋梁を優先
- 橋梁の重要度　　橋長が長く、代替路のない橋梁を優先
- 政策的判断　　改修計画のない橋梁を優先

※Ⅲ判定の橋梁に関しては、次回の点検までに対策をするように努める。

④　新技術等の活用に関する具体的な方針

今後の老朽化対策においては、事業の効率化を図るため、従来工法のみではなく新工法や新材料などの新技術等を加えた比較検討などを実施する。

表-5.1 年次計画表(R4年10月31日末時点)

番号	橋梁名	路線名称	所在地	諸元情報						点検実施年度(1巡目)	健全性	点検実施年度(2巡目)	健全性	年次計画					主な修繕内容	点検時概算工事費(千円)	工事実施年度	次回点検実施年度
				上部構造形式	橋長(m)	全幅員(m)	径間数	橋種	架設年次(西暦)					R4工事 2022年度	R5工事 2023年度	R6工事 2024年度	R7工事 2025年度	R8工事 2026年度				
1	割木橋	森岡86号線	森岡字半之木90番3地先	RC単純床版橋	2.20	5.50	1	RC橋	1977年	H30	Ⅱ								断面修復工	1,377.0		R4
2	1002号橋	森岡86号線	森岡字半之木91番2地先	RCボックスカルバート	2.40	16.40	1	その他の橋梁	不明	H30	Ⅰ											R4
3	1003号橋	森岡173号線	森岡字上半之木107番地先	RCボックスカルバート	2.00	5.80	1	その他の橋梁	1977年	H30	Ⅰ											R4
4	1005号橋	森岡13号線	森岡字栄南256番地先	RCボックスカルバート	2.40	3.98	1	RC橋	不明	H29	Ⅰ											R4
5	欠ノ前橋	森岡287号線	森岡字南陽二区172番地先	PC単純プレテンホロー桁	13.40	7.25	1	PC橋	1977年	H29	Ⅱ								伸縮装置取替工・ひび割れ注入工	9,473.0		R4
6	石根橋	森岡藤江線	森岡字餓鬼出23番1地先	PC単純プレテンホロー桁	14.20	10.75	1	PC橋	1994年	H29	Ⅱ								断面修復工・ひび割れ注入工	11,658.0		R4
7	1009号橋	森岡11号線	森岡字栄南249番地先	RCボックスカルバート	3.50	8.35	1	その他の橋梁	不明	H30	Ⅰ											R4
8	栄橋	森岡296号線	森岡字栄北257番地先	PC単純プレテンホロー桁	13.10	12.30	1	PC橋	2004年	H29	Ⅱ							○	ひび割れ注入工	23.0		R4
9	新石ヶ瀬橋	森岡田面線	森岡字中田面134地先	桁橋(T桁)	16.25 (16.25)	12.00	2	PC橋	2012年	H27	Ⅲ	R2	Ⅰ						伸縮装置取替工・断面修復工	26,767.0	R1	R7
10	44059号橋	森岡300号線	森岡字葭野11番2地先	RCボックスカルバート	4.30	12.63	1	その他の橋梁	不明	H30	Ⅱ							○	ひび割れ注入工	128.7		R4
11	米田橋	養父森岡線	緒川字下米田38番3地先	RC単純床版桁	10.85	5.70	1	RC橋	1982年	H29	Ⅰ											R4
12	時志橋	森岡276号線	森岡字時志一区45番地先	PC単純プレテンホロー桁	7.80	9.20	1	PC橋	1982年	H29	Ⅱ								断面修復工・ひび割れ注入工	2,455.0	R3	R4
13	2003号橋	養父森岡線	緒川字苅又二区24番地先	RCボックスカルバート	2.70	6.55	1	RC橋	1959年	H27	Ⅱ	R2	Ⅲ						断面修復工	100.0	R3	R7
14	2004号橋	緒川360号線	緒川字膝折44番地先	RC単純床版桁	4.30	3.00	1	RC橋	1949年	H29	Ⅱ								伸縮装置取替工・断面修復工	6,315.0		R4
15	屋敷橋	蓮池岡田川線	緒川字屋敷壱区14番10地先	PC単純プレテンホロー桁	12.60	6.20	1	PC橋	1979年	H29	Ⅱ								伸縮装置取替工・断面修復工	9,510.0	R2	R4
16	家左川橋	緒川6号線	緒川字宗六浜71番14地先	PC単純プレテンホロー桁	14.10	6.23	1	PC橋	1979年	H29	Ⅰ											R4
17	2007号橋	緒川372号線	緒川字北新田22番8地先	RC単純床版桁	2.28	4.45	1	RC橋	1977年	H29	Ⅲ								断面修復工	1,938.0	H30	R4
18	大藪橋	緒川208号線	緒川字大藪34番地先	PC単純プレテンT桁	16.90	5.20	1	PC橋	1989年	H29	Ⅰ										H30	R4
19	2019号橋	緒川214号線	緒川字入道狭間56番地先	RC単純床版橋	3.50	6.78	1	RC橋	1981年	H30	Ⅱ								ひび割れ注入工・防護柵補修工	135.1		R4
20	石名平橋	森岡藤江線	緒川字組ヶ平一区15番2地先	PC単純プレテンホロー桁	13.90	12.50	1	PC橋	2012年	H29	Ⅱ								ひび割れ注入工	515.0		R4
21	2022号橋	緒川358号線	緒川字上米田9番17地先	RCボックスカルバート	3.60	20.05	1	RC橋	1982年	H27	Ⅱ	R2	Ⅱ						断面修復工・ひび割れ注入工	100.0		R7
22	2023号橋	緒川242号線	緒川字組ヶ平参区14番2地先	RC単純床版桁	12.80	4.80	1	RC橋	1961年	H29	Ⅰ											R4
23	2025号橋	緒川301号線	緒川字明治154番地先	PC単純プレテンホロー桁	6.35	4.60	1	PC橋	1979年	H29	Ⅱ								ひび割れ注入工・橋面防水工	1,075.0		R4
24	2027号橋	緒川227号線	緒川字大高山一区49番地先	RC連続床版橋	6.80	4.30	2	RC橋	1977年	H30	Ⅱ								防護柵補修工	450.5		R4
25	2028号橋	緒川136号線	緒川字蛭藻池45番地先	RC単純床版橋	6.30	4.60	1	RC橋	1982年	H30	Ⅰ											R4
26	2029号橋	緒川6号線	森岡字栄南237番地先	RCボックスカルバート	3.60	6.00	1	その他の橋梁	不明	H30	Ⅰ											R4
27	2032号橋	緒川50号線	緒川字北新田5番5地先	RCボックスカルバート	5.65	8.00	1	RC橋	2003年	H27	Ⅱ	R2	Ⅱ						断面修復工・ひび割れ注入工	100.0		R4
28	3003号橋	緒川新田50号線	緒川字丸山26番3地先	RCボックスカルバート	5.80	5.20	1	RC橋	2006年	H27	Ⅱ	R2	Ⅱ						断面修復工・ひび割れ注入工	100.0		R7
29	釜池橋	釜池雁狭間山線	緒川字西釜池6番2地先	RC単純床版桁	9.90	5.80	1	RC橋	1977年	H29	Ⅱ								伸縮装置取替工・断面修復工	6,430.0	R2	R4
30	3005号橋	組田線	緒川字組田17番3地先	RC単純床版橋	4.91	12.30	1	RC橋	1978年	H30	Ⅱ								断面修復工	381.1	H29	R4
31	4003号橋	石浜81号線	石浜字下庚申坊82番地先	RC単純床版桁	3.95	5.10	1	RC橋	1977年	H29	Ⅱ								断面修復工・ひび割れ注入工	1,353.0		R4

表-5.1 年次計画表(R4年10月31日末時点)

番号	橋梁名	路線名称	所在地	諸元情報						点検実施年度（1巡目）	健全性	点検実施年度（2巡目）	健全性	年次計画					主な修繕内容	点検時概算工事費（千円）	工事実施年度	次回点検実施年度
				上部構造形式	橋長（m）	全幅員（m）	径間数	橋種	架設年次（西暦）					R4工事 2022年度	R5工事 2023年度	R6工事 2024年度	R7工事 2025年度	R8工事 2026年度				
32	4005号橋	石浜8号線	石浜字大曲輪157番地先	RCボックスカルバート	2.90	7.50	1	その他の橋梁	不明	H30	Ⅰ											R4
33	4006号橋	石浜4号線	石浜字大曲輪174番地先	RCボックスカルバート	2.85	7.50	1	その他の橋梁	不明	H30	Ⅰ											R4
34	平地橋	西平地西ノ宮線	石浜字須賀46番2地先	PC単純プレテンホロー桁	14.05	11.30	1	PC橋	2003年	H29	Ⅰ											R4
35	黒鳥橋	石浜39号線	石浜字八ツ針58番2地先	PC単純プレテンホロー桁	14.00	10.00	1	PC橋	2009年	H29	Ⅱ								断面修復工・ひび割れ注入工	1,405.0		R4
36	4014号橋	石浜202号線	石浜字東半戸205番地先	RCボックスカルバート	3.00	6.05	1	その他の橋梁	不明	H30	Ⅱ								断面修復工・ひび割れ注入工	630.7		R4
37	4015号橋	緒川新田28号線	石浜字藤仙坊43番3地先	RC単純床版橋	2.50	2.50	1	RC橋	1977年	H30	Ⅱ								断面修復工	459.0		R4
38	4016号橋	緒川新田28号線	石浜字藤仙坊43番3地先	RCボックスカルバート	2.70	6.95	1	その他の橋梁	不明	H30	Ⅰ											R4
39	4017号橋	石浜205号線	石浜字午池7番1地先	RCボックスカルバート	3.10	4.90	1	その他の橋梁	1992年	H30	Ⅰ											R4
40	4018号橋	石浜192号線	石浜字蕨159番地先	RCボックスカルバート	7.60	13.80	1	RC橋	1977年	H27	Ⅱ	R2	Ⅱ						断面修復工・ひび割れ注入工	100.0		R7
41	4019号橋	石浜341号線	石浜字吹付2番216地先	PC単純プレテンホロー桁	24.00	15.80	1	PC橋	2009年	H29	Ⅱ								ひび割れ注入工	16,788.0	R3	R4
42	飛山橋	石浜371号線	石浜字飛山48番6地先	PC単純プレテンホロー桁	14.70	7.70	1	PC橋	2009年	H29	Ⅰ											R4
43	豆搗橋歩道橋	石浜376号線	石浜字行田18番2地先	角型鋼管床版橋	16.30	2.80	1	鋼橋	2018年	R4												R4
44	願並橋	石浜372号線	石浜字願並1番5地先	PC単純プレテン空中庄版橋	14.80	10.50	1	PC橋	2009年	R4												R4
45	わらび橋	石浜373号線	石浜字蕨1番5地先	PC単純プレテン空中庄版橋	17.00	10.50	1	PC橋	2009年	R4												R4
46	5001号橋	生路47号線	生路字狭間55番3地先	RC単純床版桁	2.95	3.75	1	RC橋	1987年	H29	Ⅱ								断面修復工・橋面防水工	4,793.0		R4
47	川尻橋	生路3号線	生路字生川尻50番6地先	PC単純プレテンホロー桁	14.40	4.80	1	PC橋	不明	H29	Ⅱ								断面修復工・ひび割れ注入工	3,230.0		R4
48	5005号橋	藤江4号線	生路字生栄三区55番地先	RCボックスカルバート	3.20	5.90	1	その他の橋梁	1984年	H30	Ⅰ											R4
49	5006号橋	藤江4号線	生路字生栄三区55番地先	RCボックスカルバート	3.50	5.98	1	その他の橋梁	不明	H30	Ⅰ											R4
50	5009号橋	石浜189号線	生路字永栄二区99番地先	その他のPC単純桁	5.00	4.60	1	PC橋	1977年	H30	Ⅱ								断面修復工・ひび割れ注入工	1,883.5		R4
51	5010号橋	生路108号線	生路字永栄一区110番地先	その他のPC単純桁	3.35	4.60	1	PC橋	1981年	H30	Ⅱ								断面修復工・防護柵補修工	850.0		R4
52	5011号橋	藤江4号線	生路字生栄五区57番地先	RCボックスカルバート	3.50	6.55	1	その他の橋梁	不明	H30	Ⅰ											R4
53	6001号橋	石浜202号線	藤江字東黒根83番地先	その他のPC単純桁	5.00	3.40	1	PC橋	1977年	H29	Ⅱ								伸縮装置取替工・断面修復工	7,300.0		R4
54	6002号橋	石浜192号線	藤江字仲之山183番地先	その他のPC単純桁	4.40	7.00	1	PC橋	1948年	H30	Ⅰ										H29	R4
55	6003号橋	藤江147号線	藤江字仲之山168番地先	その他のPC単純桁	3.90	4.00	1	PC橋	1977年	H30	Ⅰ											R4
56	6004号橋	藤江155号線	藤江字仲之山168番地先	その他PC単純桁	4.45	4.00	1	PC橋	1977年	H30	Ⅱ								断面修復工	1,258.0		R4
57	6008号橋	藤江147号線	藤江字仲之山174番地先	RCボックスカルバート	4.20	4.60	1	その他の橋梁	不明	H30	Ⅰ											R4
58	藤川橋	藤江67号線	藤江字山敷188番1地先	PC単純プレテンホロー桁	13.50	6.20	1	PC橋	2014年	H30	Ⅰ											R4
59	上満橋	藤江23号線	藤江字上満42番3地先	その他のPC単純桁	11.20	5.70	1	PC橋	1967年	H30	Ⅰ										H29	R4
60	6012号橋	藤江4号線	藤江字稲栄二区53番地先	RCボックスカルバート	2.80	8.07	1	その他の橋梁	不明	H30	Ⅰ											R4
61	6013号橋	藤江27号線	藤江字午新田1番25地先	RC単純床版橋	2.75	2.80	1	RC橋	1982年	H30	Ⅰ											R4
62	6014号橋	藤江34号線	藤江字午新田1番25地先	RC単純床版橋	2.90	5.40	1	RC橋	1982年	H30	Ⅰ											R4
63	6015号橋	藤江32号線	藤江亥子新田1番7地先	RC単純床版橋	3.55	6.00	1	RC橋	1981年	H30	Ⅱ								ひび割れ注入工・防護柵補修工	918.5		R4

表-5.1　年次計画表(R4年10月31日末時点)

番号	橋梁名	路線名称	所在地	諸元情報						点検実施年度（1巡目）	健全性	点検実施年度（2巡目）	健全性	年次計画					主な修繕内容	点検時概算工事費（千円）	工事実施年度	次回点検実施年度
				上部構造形式	橋長（m）	全幅員（m）	径間数	橋種	架設年次（西暦）					R4工事 2022年度	R5工事 2023年度	R6工事 2024年度	R7工事 2025年度	R8工事 2026年度				
64	6016号橋	藤江26号線	藤江字稲栄三区37番地先	RC単純床版桁	3.55	9.05	1	RC橋	1961年	H29	Ⅱ								ひび割れ注入工・防護柵補修工	1,158.0		R4
65	材栄橋	藤江42号線	藤江字南栄町1番1地先	単純非合成鈑桁	14.40	12.70	1	鋼橋	1970年	H29	Ⅰ											R4
66	新仏橋	藤江線	藤江字仲之廻間1番6地先	PC単純プレテンホロー桁	26.00	15.80	1	PC橋	2013年	H30	Ⅱ								ひび割れ注入工・橋面防水工	885.7		R4
67	坊主橋	竹ヶ鼻吹付線	緒川字大門二区62番地先	PC単純プレテンT桁	20.20	12.80	1	PC橋	1990年	H29	Ⅱ								伸縮装置取替工・橋面防水工	15,230.0	H30	R4
68	天白橋	緒川73号線	森岡字南陽二区173番地先	PC単純プレテンホロー桁	18.80	7.50	1	PC橋	1978年	H29	Ⅱ						○		伸縮装置取替工・断面修復工	14,526.0		R4
69	天王橋	石浜3号線	石浜字西天王新田1番3地先	単純非合成鈑桁	19.85	3.20	1	鋼橋	1981年	H29	Ⅰ										H27	R4
70	桜橋	緒川336号線	緒川字平成120番地先	その他のPC単純桁	20.10	3.80	1	PC橋	1991年	H29	Ⅱ			○					断面修復工・ひび割れ注入工	2,598.0		R4
71	蕨橋	山敷高ツブラ線	藤江字山敷180番地先	PC単純プレテンホロー桁	20.15	10.03	1	PC橋	1990年	H29	Ⅲ								伸縮装置取替工・断面修復工	20,895.0	H31(R1)	R4
72	7937号橋	藤江213号線	藤江字仲之廻間2番6地先	RCボックスカルバート	2.50	16.35	1	その他の橋梁	1992年	H30	Ⅰ											R4
73	7938号橋	緒川338号線	緒川字辰新田壱区39番2地先	PC単純プレテンT桁	14.70	6.20	1	PC橋	1995年	H29	Ⅱ								断面修復工	2,325.0		R4
74	亀井戸橋	認定外道路	森岡字亀井戸66番1地先	桁橋(I桁)	14.00	1.90	1	鋼橋	不明	R4												R4

*健全性Ⅰの橋梁については修繕対象外

※亀井戸橋は認定外道路のため計画対象外とする。(健全性の確保の為、他の橋梁と同じく5年に1度点検を行うものとする。)

６　長寿命化修繕計画による効果

以上の長寿命化に係わる基本方針に基づき作成した今後 100 年間の長寿命化修繕計画の効果を以下に示す。

①　トータルコストの縮減効果

橋梁に著しい損傷が発生してから補修する場合（事後保全タイプの補修）、定期的に点検を実施し損傷が軽微なうちに補修する場合（予防保全タイプの補修）の２タイプのコスト比較を実施した。

計画策定橋梁 73 橋を対象とした場合、今後 100 年間の維持費（詳細設計費等を除く）は事後保全タイプの約 1,185 百万円から、予防保全タイプの約 921 百万円となり、約 264 百万円（約 22.3%）の縮減が見込まれる。

②　補修費を平準化した場合の年間予算額

計画策定橋梁73橋における今後100年間の予防保全タイプの補修費約921百万円を 100 年で単純に平準化した場合、約 9.2 百万円/年となる。

7　計画策定担当部署

(1)　計画策定担当部署

東浦町 建設部 土木維持管理課　TEL：0562-83-3111（代）

平成 26 年 3 月策定
平成 27 年 3 月改訂
令和 3 年 11 月改訂
令和 4 年 6 月改訂
令和 4 年 11 月改訂
令和 5 年 1 月改訂